

平成 22 年 1 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ジパング・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田端 一宏
(J A S D A Q ・ コード 2 6 8 4)
問合せ先 取締役管理本部長 亀田 学
電話 0 5 2 - 3 1 0 - 0 7 1 1

孫会社の異動に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 1 月 1 日付けにて株式会社ジパング（消滅会社）を吸収合併いたしました。同合併により、同日付にて当社の 100%子会社である Jipangu International Inc. が当社の子会社となり、同社が 100%保有する Florida Canyon Mining, Inc. が孫会社に該当することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当該連結子会社の概要

名 称	Jipangu International Inc.
住 所	デラウェア 米国
代 表 者 の 氏 名	代表取締役 谷 藤吉郎
資 本 金	US\$ 1
事 業 の 内 容	金生産関連事業

2. 異動の理由

当社は、昨今の業績不振等による財務基盤を強化するため、「プライム・ショッピング」ブランドによる新しい電子小売業の事業モデルへの転換を急ぎ、商品供給会社、映像制作会社、広告代理店など関係各社との連携を強めることに加え、既存の通販事業を収益面で補完する新しい収益モデルとして位置付けた当社保有のテレビ事業を基にする新たなサービスや、お客様へ商品をお届けする機能自体を商品化したサービスの展開を行っております。しかしながら、国内の消費者市場が反転するには更に時間を要すると想像され、既存の通販事業のみによる収益好転と、これによる財務基盤強化には更に多くの不安定要素が存在すると認識するに至り、将来の成長と相乗が期待される新しい事業の創造と獲得の検討を進めておりました。

また、新しい電子小売業の事業モデルへの転換を国内に限らず、海外での展開を含め加速、推進することに加え、当社収益基盤の早期安定化を実現する最適の手段としまして、既存の通販事業とは異なった市場、異なった収益モデルを有する事業の獲得を意図し、平成22年1月1日付けにて金鉱山会社である株式会社ジパングを吸収合併いたしました。これにより、同社の100%子会社であるJipangu International Inc.（米国デラウェア州）が100%出資しております海外における金生産孫会社であるFlorida Canyon Mining, Inc. が当社の孫会社に該当することとなった次第です。

3. 異動する孫会社の概要

(1)

名 称	Florida Canyon Mining, Inc.
住 所	デラウェア 米国
代 表 者 の 氏 名	最高経営責任者兼最高執行責任者 ジェームス・T オニール・ジュニア
資 本 金	US\$ 0.1
事 業 の 内 容	金生産関連事業
設 立 年 月 日	平成10年12月16日
大 株 主 の 状 況 (平成22年1月7日現在)	Jipangu International Inc. 100.00%
当 社 と の 関 係	資本関係：当社が100%保有しております Jipangu International Inc. が100%出資しております。
	人的関係：当社代表取締役会長の松藤民輔並びに当社取締役の亀田学、好村和憲及び谷藤吉郎が同社の取締役を兼務しております。
	取引関係：該当事項はありません。

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該孫会社の議決権の数及び当該孫会社の総株主等の議決権に対する割合

① 当社の所有に係る当該子会社の議決権の数

異動前 一個 (一個)

異動後 100個 (100個)

② 総株主等の議決権に対する割合

異動前 ー% (ー%)

異動後 100.00% (100.00%)

※ () 内は、間接保有分を示し、内数となります。

(3) 当該異動の理由及びその年月日

異動の理由 平成22年1月1日効力発生の当社（存続会社）と株式会社ジパング（消滅会社）との吸収合併に伴い、同社の100%子会社である Jipangu International Inc.（米国デラウェア州）が100%出資しております Florida Canyon Mining, Inc. が当社の孫会社に該当することとなります。

異動年月日 平成22年1月1日

(4) 最近事業年度における業績の動向

	平成18年12月期	平成19年12月期	平成20年12月期
売 上 高	1,151百万円	2,663百万円	4,293百万円
営 業 利 益	26百万円	537百万円	431百万円
経 常 利 益	△5百万円	694百万円	394百万円
当 期 純 利 益	△34百万円	474百万円	△412百万円
1株当たり当期純利益	△348,950円	4,741,430円	△4,120,626円
純 資 産	△35百万円	421百万円	△6百万円
1株当たり純資産	△353,540円	4,211,710円	△67,700円
1株当たり配当金	ー円ー銭	ー円ー銭	ー円ー銭
総 資 産	2,148百万円	2,445百万円	1,795百万円

4. 今後の見通し

平成 22 年 1 月 5 日に開示しております「合併及び決算期変更等による業績予測の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上